



緑の園 7月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第61号

令和3年7月1日発行

The Michael Schenker Group/The Michael Schenker Group(1981)



ワクチン接種は順調に進んでいます。

5月17日(月)から始まりました新型コロナウイルスのワクチン接種は順調に進み利用者様におかれましては今月中に終了する予定となっております。

心配されたワクチン接種による副反応は重篤な症状を呈した方は今のところおられませんのでまずは一安心といったところです。

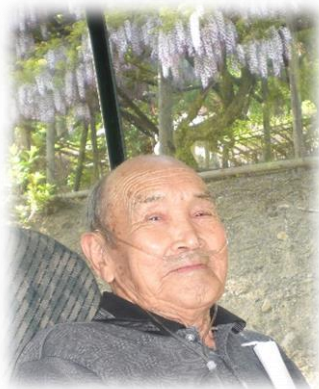
新型コロナワクチン接種に関しましてはご家族様を始め、まるせつび厚生クリニック様、遠軽町のご協力により実施できましたことに感謝いたします。

さて、北海道における感染状況につきましては先月の21日に緊急事態宣言がようやく解かれ札幌市においてのみ今月の11日(金)まで「まん延防止等重点措置」に移行しました。

北海道においては感染者の減少こそ顕著にみられますが予断は許されない状況は続いています。

今までは緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除された後速やかにリバウンド(感染拡大)が起こってしまっていることを考えるととても心配な状況です。

法人各施設のご利用者様ならびに職員の新型コロナワクチンの接種がすべて終了したのちの対応については今のところは未定ではありますので誠に申し訳ござ



いませんが、**面会等の制限は継続**させていただきたく存じます。

ご迷惑、ご心配をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、感染をどの程度予防してくれるのかについてはまだわかっていないそうです。

そのために、**今まで通りの感染対策を継続**していかねばなりません。

新型コロナウイルスに対抗する手段としてワクチンという武器をようやく私たちは手に入れました。

しかしながら予防接種を受けたからといっても残念ながら無敵になったわけではありません。

そのためしばらくは**手洗い・マスク・換気**そして**密閉空間・密集場所・密接場面のいわゆる三密の回避**を徹底することは今まで通り求められます。

皆様のご協力を切にお願いいたします。





第1回 評議員会及び第2回 理事会が開催されました。

先月の14日(月)に令和3年度第1回の評議員会、翌15日(火)に第2回の理事会が開催されました。

第1回の理事会同様北海道におきましては非常事態宣言下ということもあり両日とも「書面」での決議となりました。

評議員会では令和2年度の法人のそれぞれの事業における決算認定ならびに新しい法人の理事の選任決議につきましても行われました。

この度、新しく社会福祉法人 丸瀬布社会福祉協会の評議員に選任された方々ならびに理事に選任された方々は次のとおりです。

評 議 員



評 議 員	佐 藤 正 美
評 議 員	谷 口 寿 康
評 議 員	渡 瀬 松 男
評 議 員	竹 村 貴 士
評 議 員	小 林 哲 雄
評 議 員	佐 竹 聡 子
評 議 員	山 本 美 栄 子
評 議 員	浅 利 誠

理 事



理 事 長	能 正 政 寛
理 事	栗 宇 進
理 事	福 井 稔 教
理 事	磯 貝 勝 幸
理 事	高 橋 秀 視
業務執行理事	小 原 穰
理 事	加 藤 俊 之

監 事



監 事	岩 上 孝 義
監 事	大 村 明

※令和2年度決算内容および令和3年度現況報告

につきましては当法人のホームページをご覧ください。

令和3年も後半 戦に突入です。

7月は「文月(ふみつき)」といいます。

中国では7月7日に書物の虫干しをする行事があり、わが国に入ってきて「文開く月」となり、それが「ふみつき」となった。

また、稲穂が目立つ時期から「穂見月」という説もあるそうです。

さて、特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ、養護老人ホーム緑の園そして特別養護老人ホームグリーンプラザそれぞれの施設で開催を予定しておりました自治会合同盆踊り大会は今年も残念ながら中止とさせていただきます。

新たな変異株の感染者が札幌市で初めて確認されるなど心配な状況に変わりがないことに無力感を感じますが私たちは今、闇の中にいるのですが、でも闇はただの「真っ暗」ではありません。

実は、夜明け前が一番暗いといわれます。

太陽は確実にそばまで来ています夜明けはもうすぐです。今月もよろしくです。(おばら)

